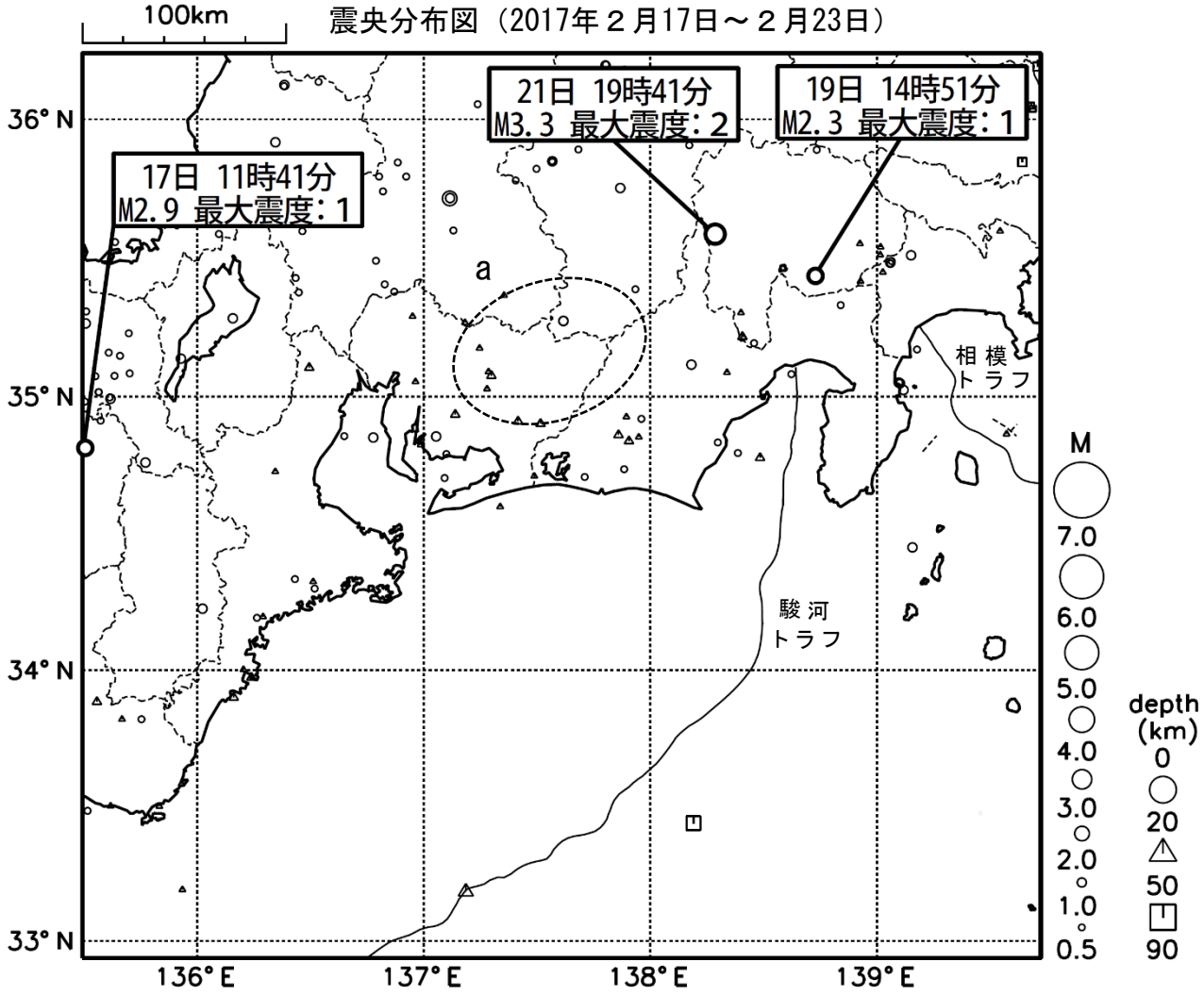
平成29年２月24日
気象庁地震火山部

東海地域の週間地震活動概況 No. 8

＊震源時、震央地名、マグニチュード等は、再調査により修正することがある。

震央分布図（2017年２月17日～２月23日）



“震度１以上を観測した地震”、“東海地域でM3.0以上、その他の地域でM4.0以上の地震”及び“その他注目した地震”に「震源時、マグニチュード、最大震度」を付している（震源の深さ０～90km）。

［概 況］

13日から17日にかけて、東海地震の想定震源域より北西側の愛知県から長野県のプレート境界深部において「短期的ゆっくりすべり」が発生した。なお、平成25年はじめ頃から浜名湖付近のプレート境界で発生している「長期的ゆっくりすべり」は、現在は緩やかになっていると考えられる*。

【東海地域】

［地震活動］

・特に目立った活動はなかった。

［深部低周波地震（微動）活動］

・13日から22日にかけて、愛知県から長野県（領域ａ）を震央とする深部低周波地震（微動）を観測した。また、東海地方に設置されている複数のひずみ観測点では13日から17日にかけて地殻変動を観測した。

【その他の地域】

・特に目立った活動はなかった。

※上の震央分布図には、震源決定精度が高い地震の震央のみ表示している。このため、震源決定精度が高くない深部低周波地震（微動）の震央は表示されない。

国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016 年熊本地震緊急観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合(IRIS) の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

*平成 29 年１月地震防災対策強化地域判定会会長会見資料（http://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/gaikyo/hantei20170130/mate01.pdf）参照